

五月十五日

晴

一 最近の別子労働状態

別子鑛山ニ於ケル労働組合運動、大正十三年夏漸ク
 具体化シ一時ハ組合員數約千名ヲ稱スルニ至リタルニモ、發展
 ヲ図ルニ急ムルノ餘リ寧ろ其ノ手段ニ擇シテ憾シクハ時ニハ
 不穩危険ノ口吻ヲ洩シ其ノ宣傳亦頗ル過激轉テ寒心ニ
 堪ヘルモノアリ組合員中ニハ又コレニ共鳴セシモ、其他不良ノ分
 子斯クナズ為ニ同山ニ於テ所謂組合運動ニ絶ヘズ
 約ニ於ケルコト過激不良ノ傾向ヲ脱セズ近所我國労働
 一般趨勢ト目セシルモノ所謂「組合」穩健化ト著シク其
 趣ヲ異ニモ見ルナリ如斯所謂組合員、首動、山ノ
 秩序、美風ノ漸次衰頹、微現ルヤ各部落、穩健分子之
 不悅、蹶然革正運動ヲ起スニ至リ漸次其ノ勢力ヲ失墜シ
 昨年春(三四月)以來一部組合員等頗ル挽回策ヲ講